

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		海底下CCS実施のための海洋調査事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		開始年度：平成23年度 終了年度：平成25年度		担当課室	水環境課海洋環境室		水環境課海洋環境室長	
会計区分		エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第9号		関係する計画、通知等	低炭素社会づくり行動計画・新成長戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		二酸化炭素回収・貯留(海底下CCS)事業の許可申請者が実施する海洋環境影響評価における結果の妥当性を的確に判断するために必要な基礎的情報を収集することを目的とする。 また、海底下CCS事業の普及と適正な管理体制を構築するために、超長期的な管理体制のあり方についても検討することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		海底下CCS事業に係る環境影響評価の基礎的情報を収集するために日本近海において海底下CCSの実証候補海域もしくはその可能性の高い海域並びに海流、海洋生物生態系の分布等から代表される5海域において海洋生態系及び海水、底質の炭酸指標に係る化学的性状を現地調査し、解析することにより把握する。また、海底下CCSの超長期的管理体制の在り方については、先行している海外の制度、枠組み等の情報を国際会議などから収集し、課題の抽出、我が国との既存法との比較などを行う。以上の二つの事項を有識者による検討会にて検討する。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算の状況	当初予算				270	358
			補正予算					
			繰越し等					
		計					358	
執行額								
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
		本事業は、適切な海底下CCS事業の実施を可能とし、我が国におけるCO2削減に寄与するものであるが、指標を示すのは困難である。		成果実績				-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	の21年度	22年度	23年度活動見込
		本事業は、適切な海底下CCS事業の実施を可能とし、我が国におけるCO2削減に寄与するものであるが、指標を示すのは困難である。		活動実績(当初見込み)			()	(-)
単位当たりコスト		-		(円/)	算出根拠-			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費		270	358	海洋生態系及び海水の化学的性状把握のために実施する現地調査において、1年を通しての季節変動を把握するために、来年度は年4回調査を実施するために増額する。 なお、東日本大震災後、化石燃料によるエネルギー供給の増加が考えられ、CO2の排出量削減のためにCCSの必要性はますます高まることが予想される。			
計		270	358					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					